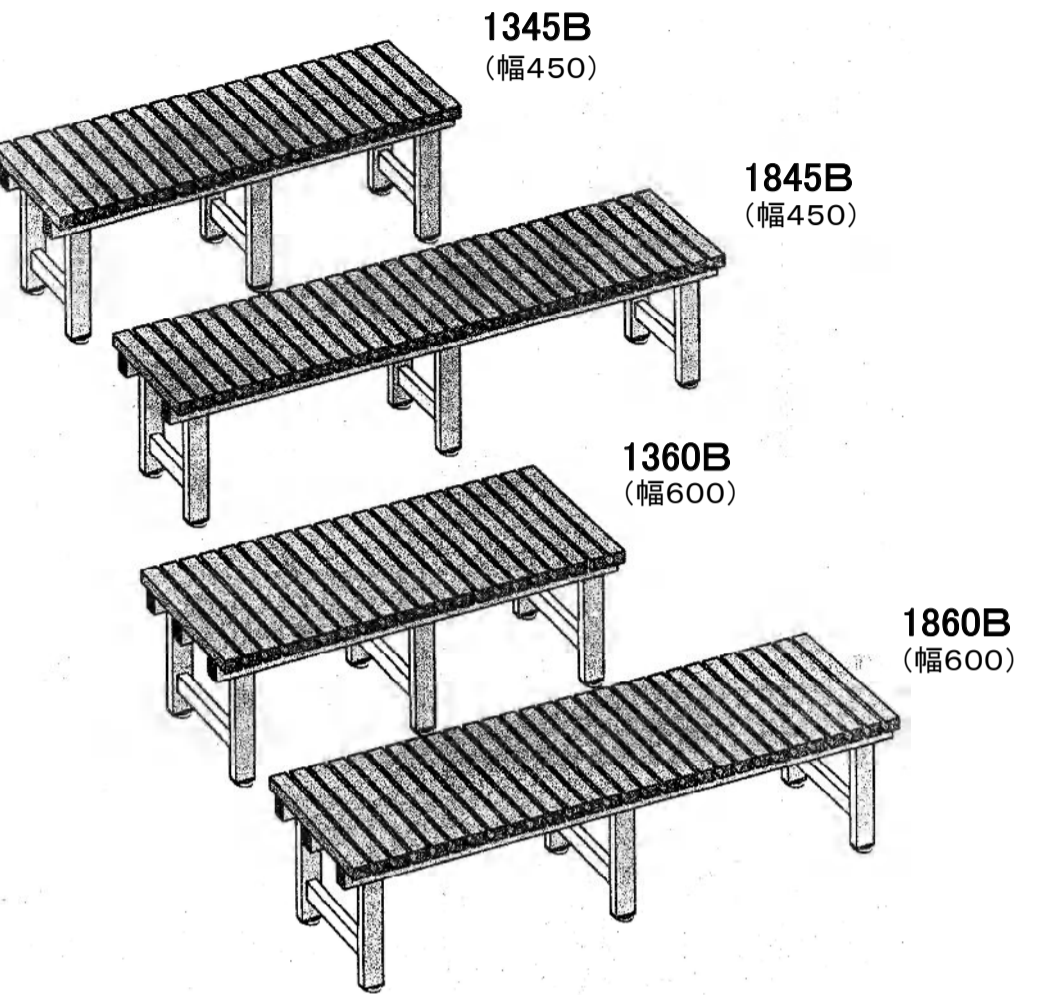


人工木アルミ縁台

アジャスター付

組立・取扱説明書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
本書は、製品の使用上の注意事項と組立て方について記載しています。
ご使用前には、必ずこの本書をよくお読みいただき、内容にしたがって正しくお使いください。



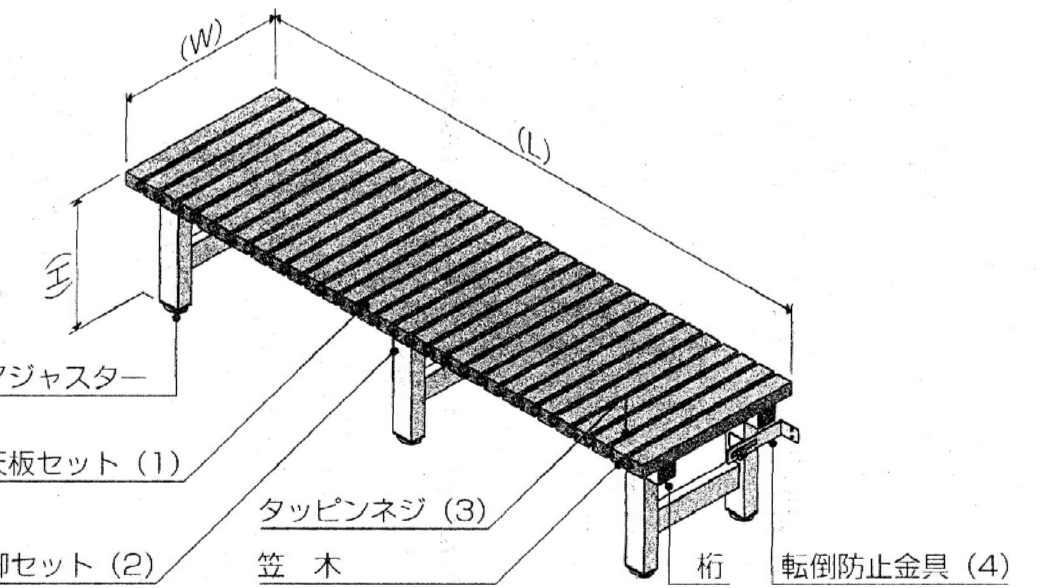
組立説明書

組立て時、電動ドライバーによるネジ締めの場合、ビス頭がねじ切れシタリ、ネジ山の磨耗によりネジが効かなくなる場合があります。
電動ドライバーのトルク調整を弱にし、完全に締めないで、最後は手動ドライバーを使用してください。

1

組立完成図および寸法・名称

◆形式に応じて笠木の本数は変わります。



品名	型式	長さ(L)	高さ(H)	奥行(W)
人工木	1345B	1309mm	400mm	450mm
アルミ縁台450幅	1845B	1809mm	400mm	450mm
人工木	1360B	1309mm	400mm	600mm
アルミ縁台600幅	1860B	1809mm	400mm	600mm

2

部品数

符号	型式	450幅		600幅	
	部品名	1345B	1845B	1360B	1860B
(1)	天板セット	1組	1組	1組	1組
(2)	脚セット	3組	3組	3組	3組
(3)	タッピンネジ	24本	24本	24本	24本
(4)	転倒防止金具	1組	1組	1組	1組

取扱説明書

ご使用にあたっては、下記の事項を必ずお守りください。
記載事項に書かれた使い方以外の使用法や、注意事項を守らずに事故を起こされた場合の責任は負いかねますのであらかじめご了承ください。

！


使用上のご注意

- ◆縁台としての用途(腰を掛ける)以外には使わないでください。用途以外に使用すると事故の原因となります。
- ◆「縁台」として設置する場合は、転倒防止のため同梱の転倒防止金具で建屋と必ず固定してください。
- ◆天板の1ヵ所に集中して乗ったり重いものを乗せないでください。天板の笠木がこわれて、ケガをする恐れがあります。天板に乗れる人数は1～3人、合計重量150kg以下です。
- ◆飛び乗り、飛び降りや天板の上で跳びはねたりしない。製品が転倒したり、衝撃で天板の笠木が折れて、ケガをする恐れがあります。静かに行動してください。
- ◆製品は、天板が水平になるようにアジャスターで調整した後、使用してください。不安定な状態で、天板に乗ると製品が転倒してケガをする恐れがあります。
- ◆天板の前後左右の端部に乗らないでください。人の重みで製品が転倒する恐れがあります。脚部の位置より内側に乗ったり座ったりしてください。
- ◆天板の笠木がガタついているときは交換してください。事故につながる恐れがあります。ガタツキ部分に笠木を、新しいものと交換してください。
- ◆持ち運ぶときは、引きずったり投げたり乱暴に扱わないでください。破損や変形、ヘコミの原因になります。
- ◆天板をナイフやカナズチ等で傷をつけないでください。傷がもとで天板の笠木が折れる原因になります。
- ◆天板に火気を近づけたり、熱いものを直接置かないでください。樹脂製のため、燃えたり、溶けたりまた変形・変色する恐れがあります。
- ◆天板に灯油、てんぷら油および薬品などをこぼさないでください。樹脂が劣化して笠木が折れる原因になります。すぐに中性洗剤を使って完全に拭き取ってください。

お手入れのしかた

- ◆汚れは、薄めた中性洗剤を含ませた濡れぞうきん等で拭き取ってください。みがき粉やたわし等を使用すると、キズがつく恐れがありますので、使用しないでください。
- ◆天板は発泡ポリスチレン樹脂製のため、柑橘精油(リモネン)成分入り洗剤の使用は避けてください。天板が溶けたり変色する恐れがあります。
- ◆シンナーやベンジン等の有機剤は、製品が変質したり天板が溶ける恐れがありますので使用しないでください。

お問い合わせ等は、下記までご連絡下さい。

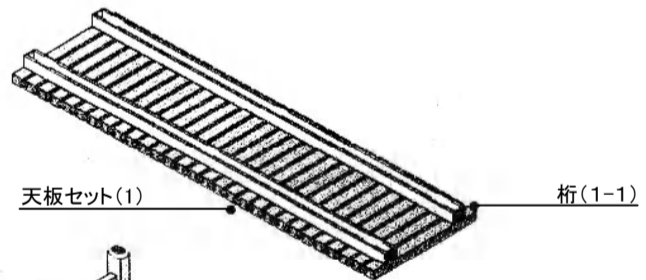
輸入元  旭興進株式会社 〒263-0003 千葉県千葉市稲毛区小深町108-1
ASAHIKOUSHA CO.,LTD. 電話 043-304-8881 FAX 043-304-8882

3

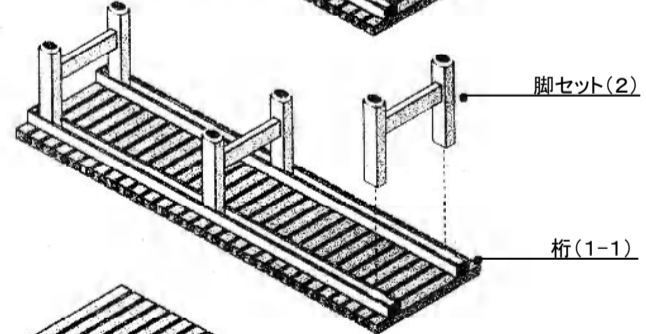
製品の組立順序(プラスドライバーが必用です)

- ◆イラストは1845B型です。(他の型式も同様に行ってください。)
- ◆建屋等への連結方法は、「転倒防止金具の建屋等への取付け」にしたがって正しく行ってください。

1. 段ボールケースから取り出した、天板セット (1) を裏返しに置きます。

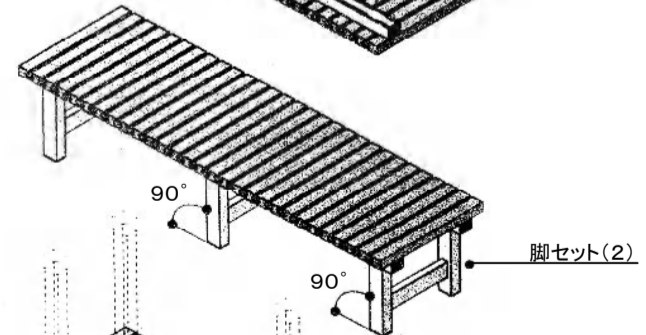


2. 天板セットの桁 (1-1) の穴あき部に、脚セット (2) を挿入してください。



脚セット (2) の両支柱は左右少しづつ均等に差し込んでいってください。

3. 脚セット (2) が抜けないように注意しながら製品を表側に返して置きます。



脚セット (2) は垂直に立ててください。

4. タッピンねじ (3) を、桁 (1-1) の取り付け穴に差し込み、プラスドライバーで最後まで確実に締めて、脚セット (2) を固定してください。

